

1. 総合政策研究科に関する事項

■博士前期課程

<1>履修方法

(1) 修了必修単位数について

修了するためには、授業科目の中から合計 30 単位を修得しなければなりません。

(2) 必修科目・選択必修科目について

1) 必修科目について

研究基礎科目の「リサーチ・リテラシー」、「統計・計量分析」、「社会調査法」、「総合政策フォーラム」計 4 科目 8 単位と、研究応用科目の「演習（総合政策セミナー）Ⅰ・Ⅱ」（計 12 単位）を履修しなければなりません。

2) 選択必修科目について

研究基礎科目のうち、1) の 4 科目を除く 5 科目から 2 科目 4 単位以上選択履修しなければなりません。

(3) 必修科目・選択必修科目以外の履修、他研究科および交流・協定校が聴講を認めた授業科目について

修了に必要な単位数 30 単位のうち、(1) および (2) の合計 24 単位を除く 6 単位を研究基礎科目、研究発展科目及び他研究科授業科目又は交流・協定校が聴講を認めた授業科目の中から選択履修しなければなりません。

交流・協定校が聴講を認めた授業科目については、合計 8 単位を上限に履修できます。他研究科授業科目については履修単位の上限はありません。

(4) 同一名称科目の履修について

授業科目の履修に際しては、同一名称科目の単位を重複して修得することはできません。ただし、「特殊講義Ⅰ・Ⅱ」は、授業内容が異なる場合、それぞれ 2 回を限度として、単位修得目的で履修することができます。

(5) 演習（総合政策セミナー）Ⅰ・Ⅱについて

「演習（総合政策セミナー）Ⅰ(1)～(4)」は、指導教授による修士論文執筆のための指導を中心とするゼミナール形式の授業科目です。また、「演習（総合政策セミナー）Ⅱ」は、複数教員による修士論文執筆のための指導を中心とする授業科目であり、原則として 2 年次において履修する科目です。

(6) 学術研究Ⅰ～Ⅳについて

「学術研究Ⅰ」、「学術研究Ⅱ」は、指導教授の指導のもとで行う調査活動、フィールド調査等の成果に対して単位が付与される科目であり、「学術研究Ⅲ」、「学術研究Ⅳ」は、指導教授以外の専任教員による特別な指導を受ける際に履修する授業科目です。履修に際しては、指導教授の指示を受けてください。

<2>修士論文

(1) 提出までの過程について

修士論文の作成・提出にあたり、以下の過程を必ず経てください。

1) 修士論文計画書・題名届等の提出

Web サイト「文系大学院掲示板」（学位）よりダウンロードした所定の届出用紙を期日までに manaba に提出してください。

対象者：2026 年度修了予定者（1 年修了予定者含む）

提出締切：5 月 7 日（木）

※提出方法については、Web サイト「文系大学院掲示板」（学位）及び manaba に掲出します。

2) 修士論文中間発表会

修士論文中間発表会では、修士論文のテーマ、論文の構成、内容などについて、主査（指導教授）、副査等に対して発表し、その後質疑応答が行われます。こうした機会は、自身の研究を他者に発表する機会になると同時に、修士論文作成に多くの示唆を与え、より質の高い論文を仕上げることに寄与します。なお、修了予定

者でなくとも、発表会に出席することをお勧めします。他者の発表に触れることを通じて、他者の研究・発表方法を知る機会ともなり、自らの研究力の向上にも繋がります。詳細については、9月上旬にCplus等でお知らせいたします。

対象者：博士前期課程 2026年度修了予定者（1年修了予定者含む）

開催日：9月26日（土）※当日は総合政策研究科の授業は原則休講となります。

(2) 提出期限について

提出期限：1月8日（金）17時 厳守

提出物：論文（A4版）論文要旨（1200字～1600字）

※その他提出物、提出方法については、10月下旬頃にWebサイト「文系大学院掲示板」（学位）及びmanabaでお知らせします。

(3) 審査について

主査・副査による論文審査が行われた後、修士論文に関する口述試験を対面型で行います。最終試験に欠席した場合、修了することはできません。

修士論文最終試験（予定）：2月12日（金）

※審査基準については、23頁をご確認ください。

<3>カリキュラムマップ

カリキュラムマップとは、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に基づき、各授業科目が、「修了するにあたって備えるべき知識・能力」のどの項目と関連するのか、学修成果の達成にどの授業科目が寄与するかを示したものです。

詳細は本学公式Webサイトにてご確認ください。